

団体名	国立米子工業高等専門学校							
事業名	留学生が地域と共に考える環日本海海洋環境問題							
実施期間	平成29年7月14日～16日、7月21日～22日							
場 所	福井県小浜市、鳥取県米子市、鳥取県西伯郡大山町、鳥取県日野郡江府町							
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ	大学関係者	来場者等	合計
	92	12	17	11	1	14	0	147名

### <実施内容>

- ①事業実施日:平成29年 7月14日～16日 :若狭湾プログラム  
7/14 韓国船遭難救護の碑見学  
7/15 スノーケリング・グラスボート体験、海洋漂着物回収(食見海岸)  
福井県海浜自然センター見学、よさこい祭演舞および実技研修  
環境講演会  
7/16 カッター体験
- ②事業実施日:平成29年 7月21日～22日 :米子高専プログラム  
7/21 海洋漂着物回収(弓ヶ浜海岸)、昼食交流会  
ものづくりや意見学生交流  
7/22 大山寺見学、サントリー天然水奥大山ブナの森工場見学
- ③事業実施日:平成29年 9月17日(日) : よなご国際交流フェスティバル  
台風のため中止

### <記録写真>



よさこい団体との集合写真



弓ヶ浜海岸の漂着物清掃



工場見学の様子

### <参加者からのコメント>

モハマド フィトリ アイマン ビン イドリスさん  
(国名)/MOHAMAD FITRI AIMAN BIN IDRIS

伊勢 綾加さん(日本)/ISE AYAKA

7月14日から16日まで3日間、米子高専の留学生9人は韓国の大学生と一緒に若狭湾での留学生地域交流事業に参加しました。現地では韓国の大学生と韓国船遭難救護の話と一緒に聞き、海洋漂着ゴミの回収を一緒に行い、海は人をつなぐということを実感しました。自然の家ではスノーケリングやグラスボート、カッターの活動を行い、若狭湾のきれいな海を満喫できました。また、よさこい踊りの実演・体験を通じて、現地の方と交流することができました。充実したプログラムだったため、3日間が短く感じられました。これからもこの事業を続けてほしいです。

私は7月21日と22日の2日間、留学生との環境研修に参加し、様々な交流をしました。1日目は弓ヶ浜海岸の漂着ゴミの調査、ものづくり体験を行い、2日目は大山寺の散策やサントリーの工場見学等を行いました。海外からの留学生の方々と交流をすることが初めてだったので、上手く会話ができるのかなど不安もありましたが、始めてみると、こちらからだけではなく留学生さんからも話しかけてもらえ、楽しく過ごすことができました。私は9月12～15日に実施される海外研修旅行で韓国に行くので、その際はもっと交流を深めたいと思います。